

IPEの新しい視座：IPSが教える専門職連携のヒント

下井俊典・諏訪さゆり・酒井郁子・孫佳茹・齊藤可紗（千葉大学）

本研修は、皆さんの専門職連携教育（IPE）、専門職連携実践（IPCP）の効果を最大化させることを目的とします。

IPEを学んでも専門職連携（IP）がうまくいく場合と、そうでない場合があります。その違いは、他の職種について学ぶこと、協働の価値を認識すること、チームメンバーの共通目標を設定すること、協働を妨げる専門職間の障壁を打ち破ること、「専門職としての自分」と「他の職種と協働する自分」を両立させること、これらができるかどうかにあります。これらは近年、IP Socialization（IPS、専門職間の社会化）という言葉で整理されています。

本研修では、このIPSを手がかりに、参加者同士が対話しながら、IPSの視点をみなさんのIPEやIPCPにどう活かすかを一緒に考えていきます。

IPE、IPCPをこれから導入しようとする方でも参加しやすく、自身の教育や実践に活かすヒントが得られる内容です。

アソシエイトポイント：TL 0.25

対 象

IPEに携わっている・携わる予定の教育機関の先生や臨床現場の現任者

定 員

30名